

接尾辞「ーぽい」について

小原真子

1. はじめに

本来、「怒りっぽい」や「子供っぽい」など、動詞や名詞に付いて話者の価値判断を表す語を作る接尾辞「ーぽい」(または「ーっぽい」)であるが、近年、従来とは異なる使われ方の用例が見られるようになってきている。「ぽい」の用法の拡大は今に始まったことではなく、見坊(1977)には「「ーぽい」がやっている」という記載があり、「四角っぽい、五反田っぽい」などの言葉が取り上げられている。また、松井(1983)にも「嘘っぽい」が若者の間で広く使われている新しい言葉として言及されている。しかし、近年の用法の拡大では、従来から使われてきた動詞や名詞だけでなく、「雨が降るっぽい」や「普通の人っぽい」など文や句に接続している例を目にするようになってきた。「ぽい」の用法の拡大について指摘している文献は近年増えてきており(小松・木村 1997; ケキゼ 2003; 小島 2003; 田村 2004; 小出 2005; 岩崎 2009; 久保 2009; 梅津 2009; 竹島 2010; 濱田 2010)、それぞれ「ぽい」の用法について、小説、新聞、インターネット上のブログなどの媒体で拡大を調査している。

本稿では、従来の用法と新規用法の違いは語彙レベルと句レベルの違いとしてとらえることができることを指摘し、新旧の用法を比較する。なお、データに関しては、「日本語書き言葉均衡コーパス 2009 年度版公開データ」(以下「コーパス」とする)を使用した。必要に応じて Google での検索例も使用した。

2. 辞書における接尾辞「ぽい」

まず、接尾辞「ぽい」の基本的意味について、いくつかの辞書の記述をあげておこう。一般的な辞書での定義は以下の通りである。

(1) ぽ・い《接尾》

体言、動詞の連用形に付いて形容詞を作る。

…の傾きがある。…しやすい。「男っーい」「忘れっーい」など、上の語が促音化する。

(『広辞苑 第5版』)

(2) っぼ・い [接尾]《形容詞型活用》

名詞や動詞の連用形などに付く。

①...を多く含んでいるという意を表す。「粉—・い」

②...の傾向が強いという意を表す。「俗—・い」「飽き—・い」「荒—・い」

(『大辞泉』)

上の2つの辞書では①「ばい」が接尾辞であり、形容詞的に活用すること、②名詞や動詞の連用形に付くことがあげられている。意味の点では『大辞泉』にあるように、付加する語の品詞によってことなり、名詞に付く場合には基本的に「何かが多く含まれている」ことを示し、動詞に付く場合には「何かの傾向が強い」ことを示す。

ただ、当然のことながら、「雨が降るっばい」などの新規用法については上記の辞書には記述がない。調べたところでは、『情報・知識 imidas』の1991年版に次のような記述があり、このころから従来にはない用法が広がってきたと考えられる。

(3) ばい [新語流行語]

それっばい。～らしい。建物や人が風俗産業関連に見えることを、フーズク
ばいという。(『情報・知識 imidas <1991>』)

ここではまだ「ばい」が名詞に付加している用例のみである。本稿で問題にしている「ばい」の用法に明確に言及している辞書としては『明鏡国語辞典』があげられ、下記のように【語法】欄に新規用法に関する言及が見られる。

(4) っぼ・い

【接尾】《さまざまな語に付いて形容詞を作る》

① 《名詞に付いて》

㊦...そのものではないが、それに近い性質があるさま。「子供—ことをするな」「この酒は水—」「黒—シャツ」

㊧...の印象が強く感じられるさま。「ほこり—部屋」「俗—趣味」「色—・理屈—」

② 《動詞の連用形に付いて》...する傾向があるさま。...しがちだ。「飽き—人」

「惚れ—」「最近忘れ—・くなった」

③ 《形容詞・形容動詞の語幹について》…の性質がありありと感じられるさま。「荒一言動」「安一時計」「哀れ一声を出す」

◆【語法】近年、「出かけるっばい」「行くっばい」など、動詞の終止形に下接する例が見える。意味は様態の「らしい」に近い。

(『明鏡国語辞典』)

このように、辞書にも記載が見られるようになってきた「ばい」の新規用法であるが、この新規用法に関する先行研究を次のセクションで概観する。

3. 先行研究に見られる「ばい」の新規用法

接尾辞「ばい」の用法を類義語「らしい」との関連に着目して分析している先行文献には山下（1995）などがあるが、ここでは「ばい」の新規用法に着目している文献に限って概観する。

先行文献では、小説、新聞のデータベース、インターネット上のブログなどを通じて用例を集めているものが多い。ただ、従来の用法と新規用法の区分が一定していなかったり、調査の範囲が異なったりしていることから、一律に比較することができない。例えば、竹島（2010）では、名詞に付加する「ばい」に限定して、その用例を各種新聞データベースで収集している。そのため、動詞に付加する形などについては言及がない。反対に、小出（2005）は動詞の連用形、形容動詞、形容詞などの語幹が基本的には名詞的な性質を持つものと考えられるとして、旧用法を名詞的なものに接続するとき、新用法を名詞的でないものに接続する時、というように分けている。新用法は動詞や形容詞・形容動詞の終止形に接続している形である。このため、比較的新しい用法である複合名詞や修飾句のある名詞句などに「ばい」が付加している場合も旧用法に含められている。

しかし、ほとんどの先行文献が「ばい」が付加する品詞を限定せずに、従来にはなかった用例として新規用法の用例の収集・考察をしている。たとえば、小島（2003）は、辞書の見出し語にあげてある「ばい」の付いた語と佐賀新聞のデータベースで検索した語を比較して、辞書の見出し語にはない用法が多く使われていること、また「Xが多い」というような意味ではなく、「どことなくXのように感じられる」という意味で使われているものが多いことを指摘

している。新聞という媒体のためか、動詞の終止形についているものは一例しか報告されていないが、インターネット上で多く使われていることは指摘している。

他にも、田村（2004）が現代小説及びインターネット上から用例を収集し、「ばい」の用法の広がり調査している。従来の用法と新規用法の違いについては特に言及せず目新しい用法を主に集めており、これらは全て新規用法と分類することができるであろう。たとえば、名詞に関しては、複合名詞、名詞句などに付加している用例が多数見られるという観察をしていたり、形容動詞において従来は語幹に付加するとされてきたものが、「変なっばい、無理だっばい」のように連体形や終止形に付加していたりする例を収集している。また、形容詞や動詞において従来語幹及び連用形に付加するとされてきたのが終止形などにも付加していたりする形があるとの観察がある。このほか、「書いてあるっばい、使ってなさっそうっばい」など動詞を変化させた形に「ばい」の付加している形も報告されている。また、代名詞や副詞に付加している形も観察されているなど、近年の「ばい」の生産力の高さに注目している。

久保(2009)も特に従来の用法、新規用法と分けることなく、書籍やインターネット上にある「ばい」の用例をいくつかの場合に分けて記述しているが、基本的に「ばい」の意味は「Xの典型的な特徴がどことなく感じられる。」から拡張しているものとしてとらえている。特に、近年見られる用法として、助動詞的な用法、指示代名詞「それ」に「ばい」が付く用例、また、下記の例のように、内容節に接続詞的に付加している例¹もあげている。

- (5) そういえば、連れ合いには、講義を聴いている時間を勉強時間にカウントしたらダメだよっばい事も言われたことがありました。

(久保 2009:8 (12))

¹ 終助詞の「ね、よ」などの後に「ばい」が付加している例はコーパスにはなかったが、インターネット上では下記のような例が散見される。

- (i) 最近のブログ手抜きだねっばいニュアンスの発言をしたので、気を引き締めて書きます。
(kokuzouson.jugem.jp/?page=38)
- (ii) 何やったっていいんだよっばいメッセージが含まれたような。
(toriio 00.blog 62.fc 2.com/?no=98)

本稿でも従来の用法と新規用法を付加する品詞で分けることはせず、辞書に見出し語があったり類似の用例であったりするものを従来の用法、それ以外を新規用法とする。次のセクションでは、新規用法の意味と形式面での違いについて考察する。

4. 接尾辞「っぽい」の新規用法とその特徴

セクション2で見たように、「っぽい」は一般的に「何かが多い様子」や「何かをしがちな様子」を表す接辞である。しかし、『明鏡国語辞典』の語法欄にあるように、その新規用法では意味的に「らしい」や「みたい」と言い換えられることが多く、推量や婉曲な断定の意味を帯びている。ただ、この用法は動詞の終止形に付加する時に限られるわけではなく、「風俗っぽい」などのように名詞に付加する場合にも見られる用法である。それでは、従来の用法の「っぽい」と新規用法の「っぽい」の形式面での違いを考えてみよう。

まず、下記のように文に付加している時はもちろんのこと、名詞に付加している場合にも、「らしい」や「みたい」に近い婉曲な断定の意味はでてくる。ただ、その場合、単純な名詞ではなく、名詞句に付加していると考えられる。

(6) あれは [タヌキの子供] っぽい cf. あの人は子供っぽい

(6) の「[タヌキの子供] っぽい」と、一般的な「子供っぽい」との意味の違いは明白である。この文では「何かが子供らしい」のではなく、「何かがタヌキの子供みたい。」という状況を示している。この他にも、辞書に載っているような単語で婉曲な断定の形を作ることは可能である。例えば、「油っぽい」は何かの油分が多い様子を示すが、「これは[天然の油] っぽい」とすれば、「これは天然の油みたい」ということを意味するようになる。

さて、意味的には「らしい」や「みたい」と置き換えられる「っぽい」であるが、形式面では何か特徴があるであろうか。まず、その造語力の多さをあげることができる。先行文献でも指摘されているように、従来からの「っぽい」が接続する語に比べて、近年前節する語の種類は多くなってきており、もとは普通名詞だけだったのが、固有名詞にまで広がってきている（小島 2003；田村 2004；濱田 2010）。これは、語として語彙部門で生成されていた従来の「っぽい」と異なり、統語部門で生成された「句」に「っぽい」が付加していると考え

えれば説明できることであろう。

次に、語の形態的緊密性（影山 1999）の観点から「ばい」の付加する語を考えてみよう。語は文の中で最も小さい単位を形成するので、(7) のように等位構造で削除する場合には、語の内部を削除することはできない。

- (7) a. 兄は [研修旅行] に出かけ、弟は [修学旅行] に出かけた。
 b. *兄は [研修__] _____、弟は [修学旅行] に出かけた。

従来の用法の「ばい」も (8) のように等位構造での削除はできないが、新規用法の「ばい」は (9) のように名詞に付加している場合でも、(10) のように動詞に付加している場合でも削除が可能である。

- (8) a. 兄は [大人っばい] が、弟は [子供っばい]。
 b. *兄は [大人__]、弟は [子供っばい]。
 (9) a. 兄は [実の子供] っばいが、弟は [他人の子供] っばい。
 b. 兄は [実の__]、弟は [他人の子供] っばい。
 (10) a. 今日の午前中は [雨が降る] っばいが、午後から [雪が降る] っばい。
 b. 今日の午前中は [雨__]、午後から [雪が降る] っばい。

また、代名詞による照応によっても「ばい」の句の性質を裏付けることができる。一般的に、代名詞は複合語や派生語の一部だけを指すことはできない。例えば、New Yorker の New York だけを代名詞 *there* で指すことはできず、*?John is a [New Yorker] and plans to open a shop there. というような文は非文となる。しかし、「ばい」の新規用法では代名詞による照応が可能である。(11) では「それ」が「ばい」の付加している「はずれてるコード」を指している。

- (11) 色々見ていたらはずれてるコード? ? っばいのがありましたそれに当てはまる端子? が (コーパス: Yahoo!知恵袋)

また、反対に、New Yorker の代わりに *it-er* ということができないように、代

名詞は一般的に合成語の中には現れることができないが、新規用法では、「それっぽい」という表現がかなり見られる。

- (12) 母の妹は 50 後半ですが、最近**それっぽい**行動をとっています。姉妹でも、なる人、
(コーパス：Yahoo!知恵袋)

また、語の内部には助詞、時制接尾辞、複数語尾、助動詞などの機能範疇が現れないのが普通で「子供新聞」はあるが、「*子供たち新聞」とは言わないなどの特徴がある。この点に関しても、新規用法では助詞、過去形の時制接尾辞などが「っぽい」の前に現れる例が見られる。

- (13) リンキンパークに至っては**最初からムリがあるっぽい**です…。自分で特定のパートだけ抜き取る
(コーパス：Yahoo!知恵袋)

- (14) プレステ 2 が**壊れたっぽい**です。今まで、しなかったのに、
(コーパス：Yahoo!知恵袋)

助動詞「らしい」に接辞「っぽい」が付く形はコーパスにはなかったが、インターネット上のブログなどには散見される。

- (15) でも同時に、ジョフ爺が頼みごとがある**らしいっぽい**ことも言っていたので、
(obliket.seesaa.net/article/158911714.html)

同様に、名詞形で複数語尾の現れる例もコーパスにはなかったが、Google で検索すると下記のような例がある。

- (16) a. 正しい生き方をすることを心がけている**人たちっぽい**なあって思いました。
(kazun 2222.blog 5.fc 2.com/blog-entry-98.html)
b. でも下の子の面倒見る**いい子達っぽい**。
(blog.livedoor.jp/miopin 929/archives/cat_10043224.html)

このように、新規用法で「っぽい」が付加している要素は語の形態的緊密性を見せないところから、語ではなくて、句や文のレベルと考えられる。先行文献で

は「ばい」の接続する直近の語だけを集めて観察しているものが見られるが、句や文に接続していると考ええると、直近の語だけではなく、句のレベルまで考慮に入れる必要があると言える。それでは、以上のことを念頭において、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」では、どのような「ばい」の用例が見られるのかを次のセクションで概観する。

5. 「現代日本語書き言葉均衡コーパス」に見られる接尾辞「ばい」

まず、コーパスに見られる「ばい」の用法を調査する前に、辞書の見出し語になっている接尾辞「ばい」の付いた語を整理しておこう。以下のリストでは次の略称を使用している。広=『逆引き広辞苑』、日=『日本語逆引き辞典』、大=『大辞泉』、明=『明鏡国語辞典』、形=『現代形容詞用法辞典』。これらの辞書で見出し語として「ばい」が付く形の語は下記の合計 38 語である。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| (17) あおっばい (大、明、形) | あかっばい (形) |
| あきっばい (広、日、大、明、形) | あだっばい (広、日、大、明、形) |
| あらっばい (広、日、大、明、形) | あわれっばい (広、日、大、明、形) |
| いがらっばい (広、日、大、明、形) | いろっばい (広、日、大、明、形) |
| うそっばい ² (大) | えがらっばい (広、日、大、明) |
| おこりっばい (広、日、大、形) | おとこっばい (日、形) |
| おとなっばい (広、大、形) | おんなっばい (形) |
| かるっばい (日) | きざっばい (広、日、大、形) |
| ぐちっばい (広、日、大、形) | くろっばい (広、日、大、明、形) |
| こどもっばい (広、日、大、明、形) | ざらっばい (形) |
| しけっばい (形) | しめっばい (広、日、大、明、形) |
| しろっばい (広、日、大、明、形) | ぞくっばい (広、日、大、明、形) |
| つやっばい (広、日、大、明、形) | とっばい (広、大、形) |
| にがっばい (形) | ねっばい (広、日、大、明、形) |

² 正確には、1995年、1998年の『大辞泉』には「うそっばい」は見出し語になく、『デジタル大辞泉』に見出し語としてあげてあるものである。編集部を確認したところ、登録時期は2009年である。また、この他の辞書として『大辞林』では第二版(1995)までは「うそっばい」を見出し語に採用していないが、第三版(2006)では見出し語としてあげている。この語が現在では定着している用法であり、広く使われるようになってきたためであろう。

ひがみっばい (大)	ひにくっばい (形)
ほこりっばい (広、日、大、形)	ほねっばい (広、日、大、明、形)
ほれっばい (広、大、形)	みずっばい (広、日、大、明、形)
むせっばい (日、大、形)	やすっばい (広、日、大、明、形)
りくっばい (広、日、大、明、形)	わずれっばい (広、日、大、明、形)

上記の見出し語の中には、やや古めかしく、日常生活では使われないだろうと思われる語も入っているが、出発点として以上の語を利用する。

「現代日本語書き言葉均衡コーパス」は現在開発中のコーパスであるが、今回は公開データ 2009 年度版を使用した。全体で約 4500 万語、そのうち「書籍」が約 3,000 万語、「白書」約 480 万語、「Yahoo!知恵袋」約 520 万語、「国会会議録」約 490 万語である。

まず、接尾辞「ばい」が用例中に出てくるものは総計 1,237 例であった。また、「ばかっ (た)」、「ぼく (て)」、「ぼさ」、「ぼすぎ (る)」のような活用形を合計すると 718 例、よって、「ばい」とその変化形はコーパス内に 1,955 例存在した。ただし、媒体ごとに「ばい」の使用状況が大きく違うので、「白書」、「国会会議録」、「書籍」、「Yahoo!知恵袋」の順でその特徴を見ていく。

まず、「白書」のデータの中で、「ばい」の使われている例は次の 2 例のみである。「白書」には 1976 年から 2005 年までの 30 年間に発行された政府系刊行物「白書」の中からサンプルを抽出したデータが収録されている³。

- (18) a. その際、「今の子どもは**飽きっばい**」として同じプログラムは 2 時間
 b. 「偏執的で、疑い深く、**ひがみっばい**」タイプ (Ⅲ型) がそれぞれ
 (コーパス：白書)

「ばい」の用例が極端に少ないのは、「ばい」が口語的なため、公的な文書にはふさわしくない表現であることが影響しているのであろう。「飽きっばい、ひがみっばい」とも辞書の見出し語になっており、定着した形と言える。

「国会会議録」も同様の傾向である。「国会会議録」は 1976 年から 2005 年ま

³ サンプルング方法についてはコーパス内に収録されている丸山岳彦 (2009) 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』モニター公開データ (2009 年度版) サンプルング方法について』を参考にした。

での30年間における国会会議録の中からサンプルを採っているが、16例の検索例のみであり、その中では「粗っばい、荒っばい」が使用されている例が最も多く、10例あった。下に用例をいくつか出すが、これも公的な場であるので、口語的な「ばい」があまり使われないのであろう。また、ほとんどの例が辞書の見出し語になっている形で、「素人っばい」だけが辞書の見出し語にない形であった。

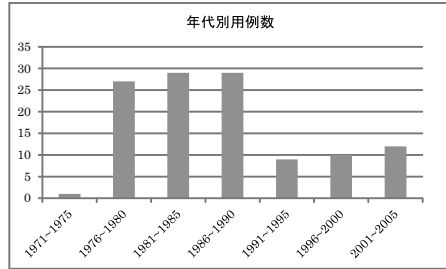
- (19) a. 点からだと思います。非常に**荒っばい**言い方ですけれども、次のように
 b. 柄ですから撤回なんという**子供っばい**言葉は使いません。使いませんが
 c. でございますから、非常に**素人っばい**ことを言うて申しわけないが、と
 d. 世界が新しい歴史に向かって**熱っばい**議論をしているときに、また懸命
 e. とかあるいは所得再配分、**理屈っばい**ですが、そういう機能を持ってい
 (コーパス：国会会議録)

これに対し、「書籍」のデータではその様相が全く異なっている。「書籍」は①2001年から2005年までの5年間に日本国内で発行されたすべての書籍の中からランダムにサンプルを抽出したもの、②1986年から2005年までの20年間に発行された書籍のうち、東京都内のより多くの公共図書館で共通に所蔵されている書籍のサンプル、また③1976年から2005年までの30年間にベストセラーとなった書籍のランダムなサンプル、の3つを合わせたものである。

具体的な用例の分布を見る前に、「書籍」のサンプルの中で接辞「ばい」の年代順の使用例数を調べた。ここでは、サンプル数は少ないものの、各年のサンプル数が一定している、「ベストセラー」のサブコーパスに限ってデータを比較した。「ベストセラー」のサンプルの中に接辞「ばい」が含まれている例文は全体としては117例あったが、年代によって用例数には多少ばらつきが見られた。以下に表とグラフを載せておく。サンプル数が少ないので参考程度ではあるが、次頁のグラフからわかるように、70年代後半から「ばい」が多く使われるようになってきており、90年代以降は用例数が減っているものの、一定量は使用されている。あまり使用例が多くないのは、書き言葉であるため、口語的な「ばい」は使われることが少ないためであろう。

それではどのような単語が接辞「ばい」と結び付いているのかを概観しよう。「書籍」には、上で見たように、様々なサブコーパスが含まれているが、ここ

年代	用例数
1971～1975	1
1976～1980	27
1981～1985	29
1986～1990	29
1991～1995	9
1996～2000	10
2001～2005	12



では「書籍」全体を一つの部門として扱う。全体のサンプル数が多いことも原因の一つではあろうが、接尾辞「っぽい」の用例が活用形も含めて1,289例と非常に多くなっている。

まず、辞書の見出し語の含まれる用例の頻度を調べて多い方から30個あげると、以下のような結果になった。数字は漢字に変換した形及び活用した形も含めて当該の語を含む検索例の数である。

- | | | | |
|---------------|----------|-------------|----------|
| (20) 黒っぽい 100 | 白っぽい 90 | 子供っぽい 86 | 色っぽい 82 |
| 荒(粗)っぽい 79 | 熱っぽい 75 | 安っぽい 51 | 湿っぽい 39 |
| 皮肉っぽい 36 | 怒っぽい 34 | 男っぽい 30 | 埃っぽい 30 |
| 理屈っぽい 24 | 女っぽい 23 | 大人っぽい 20 | 艶っぽい 16 |
| 赤っぽい 15 | 飽きっぽい 14 | 哀(憐)れっぽい 14 | 忘れっぽい 14 |
| 水っぽい 13 | 青っぽい 12 | 愚痴っぽい 11 | 俗っぽい 11 |
| 骨っぽい 7 | いがらっぽい 6 | 婀娜(仇)っぽい 5 | 嘘っぽい 5 |
| ひがみっぽい 5 | 惚れっぽい 2 | | |

「書籍」のデータでは辞書の見出し語を含む用例だけで、952例あり、全体の7割以上を占めている。なお、見出し語「かるっぽい、ざらっぽい、しけっぽい、にがっぽい、むせっぽい」などはコーパスには用例が見られなかった。コーパスにないからとって、使用されていないということにはならないが、あまり見ない単語とは言えるであろう。

この他の例も従来の用法の用例が多く、辞書の見出し語にはなっていないが、何らかの関係がある語が多い。例えば、色彩語関係の「黄色っぽい 23、茶色っぽい 9、緑っぽい 3、灰色っぽい 3」等もよく使われる。また、江戸時

代には「黒っばい」は「玄人っばい」、「白っばい」は「素人っばい」という意味でそれぞれ使われていたそうである（小松・木村 1997、小島 2005）が、現在では、「黒っばい、白っばい」は色彩語としてのみ用いられることが多い。その代わりとして「玄人っばい 2、素人っばい 7」という言葉が使われている。また、「水っばい」は水分が多い様子を表すが、似たような用例として「油(脂)っばい 9、粉っばい 4、砂っばい 2」なども「ばい」に前節する名詞の成分が多いことを表すために使われる。

また、人やものの特徴を示す語として、「少女っばい 3、女の子っばい 3、少年っばい 2」などの表現も使われている。この他、「田舎っばい 5、高級っばい 2、インテリっばい 3、ギャルっばい 3、紳士っばい 2、不良っばい 7、やくざっばい 10」や「ノイローゼっばい 3、浮気っばい 3」などの人やもの様子を表す言葉もコーパスには見られた。この他、用例数が多いものとしては、人の動作を描写する表現として、「悪戯っばい 82、遠慮っばい 3、冗談っばい 3」などが使われている。特に、「悪戯っばい」は使用される頻度が非常に多く、辞書の見出し語にないのが不思議なほどである⁴。

以上の用例のように一般性のある「ばい」の用法とは異なり、この他の「ばい」が付加する語は一回限りの使用例が多い。例えば、固有名詞や普通名詞に付加して何かが前節の名詞の特徴を示している様子を描写するのに使うときである。

- (21) a. 編集部宛てに、**アイルランドっばい**絵葉書で送ってくださいね」と
 b. 準備段階となります。ボクは**イタリアっばい**モダンな家具が好きで、
 c. の遺伝子に含まれている**ジャンヌ・ダルクっばい**旗が上がった。
 d. ヒゲを生やした、いかにも**アウトドアっばい**雑誌から抜け出したような
 e. 日本人離れした彫りの深い顔立ち。**ミンクっばい**コートに包んだ大柄
 (コーパス：書籍)

また、従来の用法では「ばい」が付加しないと言われている名詞の複合語（森田 1989）や名詞句などに「ばい」が付加した用例もいくつか確認された。

⁴ 『日本国語大辞典 第2版』(2000)の見出し語には存在する。

- (22) a. 次のように、話し言葉っぽくやってもみたが、結果は上々だった。
b. なら簡単。普段着の格好で十分。貧乏旅行っぽくいこう」と決めた。
c. とろ火でじっくり 三分で煮える菜っ葉っぽい夢も ひとつひとつ大事に
d. シーホースなどは、学生や会社のヨット部っぽいので頂けません。

(コーパス：書籍)

また、一例のみであったが、代名詞「それ」に付加した例も存在した。

- (23) 「それでも、この“それっぽい”見た目は、やっぱり薬品の類かな…」

(コーパス：書籍)

しかし、「書籍」のサンプル中には動詞の終止形に付加した形はほとんど見られず、下記の2例のみである。2つとも2000年代のもので、この用法が比較的新しいことを示している。

- (24) a. 金が狙いのようなだが、この男は違っっぽい。いったい、どういった犯人
b. 言ってることが間違ってるっぽい先生の授業はだめだけど、ちゃんと

(コーパス：書籍)

以上概観したように、「書籍」では「っぽい」の付加した語の使用例は多いものの、辞書に載っているような形式のものが大半で、新規用法のものはごく一部であった。新規用法が特に口語的であるためであろう。

この点で「Yahoo!知恵袋」のデータは大きな違いを見せる。このデータはインターネット上で一般の人が情報を教えあうサイト「Yahoo!知恵袋」の2004年10月から2005年10月にかけてのデータからサンプルを採ったものであり、書き言葉ではあるが、口語的な表現が多い。「Yahoo!知恵袋」全体のサンプル数は白書や国会会議録より若干多いだけであるが、「っぽい」の用例に限ると648例と非常に多くなっている。口語的な「っぽい」の性格を表しているといえよう。

「書籍」と同じように辞書の見出し語になっているような用例も存在するが、多少その頻度は異なる。多い順に16個あげる。「白っぽい、黒っぽい」など、「書籍」でも頻度の高かった語は、やはりよく使われているが、特徴として、「大

人っばい、嘘っばい」などの語の頻度が「書籍」に比べると多くなっている。

(25) 白っばい 38	大人っばい 29	黒っばい 27	安っばい 21
色っばい 17	子供っばい 13	水っばい 13	赤っばい 12
飽きっばい 12	嘘っばい 10	青っばい 6	熱っばい 4
湿っばい 4	男っばい 4	女っばい 4	埃っばい 3

しかし、辞書の見出し語の入っている用例の総数は227例で、約35%である。「書籍」と比べると辞書に掲載されているような語の使用例が少ないと言えるであろう。これと並行して「Yahoo!知恵袋」のデータには辞書の見出し語にはなりえないような臨時的な使われ方をしている例が多い。例えば、下記の例は普通名詞についてその特徴を示しているような例である。このような臨時的な使用例が「Yahoo!知恵袋」のサンプル内には多く見られる。

- (26) a. ベルト部分が革ではなく黒のステンレスっばい素材のタイプを
 b. この音が入っていて、心地良くジャズっばい曲を教えてください。
 c. たいてい開きものグリルで焼いて、サラダっばいのをひと皿
 (コーパス：Yahoo!知恵袋)

また、他の部門には見られない「無理っばい」という用例も5例あり、これも口語的な表現と言えるであろう。

- (27) a. シミになっていたら 無理っばいのですが ここは思い切って水洗い
 b. 手縫いしようと思ったんですけど無理っばいです。皆さんなら諦めますか？
 (コーパス：Yahoo!知恵袋)

名詞に付加している場合、単純に名詞に付いているのではなく、複合名詞や名詞句などに「ばい」が付加しているものも多い。すべて「みたい」、「らしい」などで置き換えられ、推量や婉曲な断定を意味している。下記にいくつかの用例をあげる。

- (28) a. 途中で**自己紹介**っぽいやってましたよね。最後のほうに時間切れ
 b. **英語のことわざ**っぽいやつで「I'm a smart man
 c. もらったんですけど、**かなり過酷な日々**っぽいです。休みが週 1 回で
 d. 札幌の気温は**大阪の冬**っぽいけど、もう春物を着てるのでしょうか？
 (コーパス：Yahoo!知恵袋)

この他、「書籍」では 1 例しか見られなかった代名詞「それ」に「っぽい」が付加している例が、「Yahoo!知恵袋」では 7 例見られた。ただ、「これ」「あれ」など、他の代名詞に「っぽい」が付加した形は見られないので、特殊な用例ということと言えるかもしれない⁵。

- (29) a. 使うと全角だろうが半角だろうが**それ**っぽいのはすべて有効になり
 b. どうかなんて判断できませんよね。**それ**っぽい書き方されて、間違った答え
 (コーパス：Yahoo!知恵袋)

動詞や形容詞の終止形に「っぽい」が付加した形も 20 例弱見られる。以下は動詞や形容詞の現在形に付加した例である。

- (30) a. 最近の曲ではなく、**結構前からある**っぽいです。手掛かりが少なくて
 b. 歌っている時は**明らかに休憩して**るっぽい、など、全盛期のドームでの
 c. 私もかっこいいと思いません。**友人は好き**っぽいのですが、『どこがイイの?』
 (コーパス：Yahoo!知恵袋)

また、動詞や形容詞の現在形に付加した例だけでなく、過去形に付加した例も見られた。

⁵ ただし、Google 検索では、「これ」「あれ」に「っぽい」が付加している形も存在した。

(iii) ガンダムもそういうところに来ているので、何をやっても、**あれ**っぽい、**これ**っぽいと言われちゃう。books.rakuten.co.jp/RBOOKS/pickup/.../tsuchida_t/

- (31) a. コインポケットがなく（最初からなかった**っばい**）、パッチも内側の
 b. 使い果たしてどうやら**風俗へ行っったばい**のです。男性って奥さんの
 c. マツケン（多分はじめて見たでしょう）に**あっけにとられてたっばい**ですね。

（コーパス：Yahoo!知恵袋）

今回使用したコーパスには田村（2004）で言及されているような、動詞やその他の述語成分を重ねているような用例は見られず、(30 b)、(31 c) の「休憩してる、とられてた」等の形しか見られなかった。また、「まだ**っばい**、やっ**っばい**」のように副詞に接続している例も見られなかった。

セクション4で検証したように、「ばい」が同じ単語に付加している場合でも語彙的に付加している場合と句に付加している場合があり得るので、「ばい」の新規用法を考えるにあたっては、「ばい」が付加している単語だけではなく、前の文脈まで考慮に入れる必要がある。例えば、下記の例では、「ばい」が文レベルに付加していると考えられる。

- (32) a. その他もちろんできるよ。**郵送住所確認が面倒**っばい****けど・・・
 b. テレビにでてる人で**だれがどっち側**っばい****とか。こういう発言はどちら側だとか。

（コーパス：Yahoo!知恵袋）

以上見てきたように、「Yahoo!知恵袋」は話し言葉にきわめて近い書き言葉であるため、「ばい」を動詞や形容詞の終止形に続けて用いる用例が多数見つかった。また、「書籍」には見られないような口語的な表現もたくさんあり、「ばい」の新規用法が近年、口語表現を中心に広がってきていることを示している。

ここまで見てきたように、このセクションでは「日本語書き言葉均衡コーパス」に見られる接辞「ばい」の使われ方を概観した。「書籍」内のサブコーパスを使用して、接辞「ばい」の用例数の変化を見た他、様々なサブコーパスでの使用例を調査した。まず、公的な文書である「白書」や「国会会議録」にはほとんど用例が見られないこと、「書籍」には様々な用例が見られるが、辞書に記載されているような従来の用法が中心で、動詞の終止形に付加したもの

は、ほとんど見られないという傾向があった。その一方で、「Yahoo!知恵袋」のデータでは辞書に載っているような用法の頻度が「書籍」のデータと比較すると低く、動詞の終止形に付加した形を含め、新規用法の用例が多くみられることを観察した。これは、新規用法が口語を中心に広がりを見せていることを示していると考えられる。

6. まとめ

本稿では、接辞「ぼい」の用法とその使われ方の傾向を概観した。もともと「子供っぽい」など接辞「ぼい」が付加している語は語彙部門で生成されているものであるが、新規用法では、その形式面の特徴から句や文に付加しているということを示した。また、「現代書き言葉均衡コーパス」を使用し、その中の「ぼい」の用例の現れ方の特徴を概観し、接辞「ぼい」の付加する語の分布について考察した。接辞「ぼい」の付加する語は口語的であるので、公的な文書などにはあまり現れないが、「書籍」などの書き言葉には浸透してきていることを観察した。また、「Yahoo!知恵袋」などの口語的な書き言葉には多数の新規用法が見られることを概観した。

今後の課題としては、接辞「ぼい」の変化を意味の面から捉えることである。小島 (2003) や小出 (2005) が指摘しているように、統語面の違いと並行して、意味の点からもモノからコトへの転換が見られるが、従来の用法から新規用法への拡張がなぜ起こったのか、意味の面からの分析が必要であろう。また、一般的に、文法化現象は内容語から機能語へと変化が起きるという方向性が指摘されている (Givón 1971, 1979)。しかし、形式面からみると、「ぼい」の場合には接辞から助動詞的なものへの逆の変化が起こっているように見える。同様の変化は同種の言葉「らしい」でも起こったと言われており (小島 2003)、日本語では文法化ではなく、脱接辞化が起こりやすいと言えるのかもしれない。今後の研究課題としたい。

参考文献

- Givón, Talmy (1971) "Historical syntax and synchronic morphology : an archaeologist's field trip." *CLS* 7, 394-415.
- Givón, Talmy (1979) *On Understanding Grammar*. New York : Academic Press.
- 濱田佳苗 (2010) 「接尾辞「ぼい」について」『愛知大学国文学』(49) : 85-99.

- 岩崎真梨子 (2009) 「形容詞性接尾辞「-ばい」の展開」『岡大文論稿』(37) : 76-66.
- 影山太郎 (1999) 『形態論と意味』くろしお出版
- ケキゼ, タチアナ (2003). 「「ばい」の意味分析」『日本語教育』(118) : 27-36.
- 見坊豪紀 (1977) 「ことばのくずかご」第 168 回『言語生活』311 号 74-77.
- 小出慶一 (2005) 「接辞「-ばい」の用法の広がり--「雪が降るっばい」という表現はどのように成立したか」『群馬県立女子大学紀要』(26) : 1-13.
- 小島聡子 (2003) 「接尾語「ばい」の変化」『明海日本語』(8) : 31-38.
- 小松祐子・木村秀次 (1997) 「接尾辞「ばい」小考」『明海日本語』3 : 41-51.
- 久保有佐 (2009) 「現代語における 接尾辞「ばい」の用法」『玉藻』(44) : 1-10.
- 松井栄一 (1983) 『国語辞典にない言葉』南雲堂
- 森田良行 (1989) 『基礎日本語辞典』角川書店
- 竹島奈歩 (2010) 「接尾辞「ばい」と共起する名詞について：新聞記事の見出しを例に」『同志社大学日本語・日本文化研究』(8) : 20-37.
- 田村泰男 (2004) 「接尾辞『ばい』が結び付く語句について」『広島大学留学生教育』(8) : 37-44.
- 梅津聖子 (2009) 「現代日本語にみる接尾辞「ばい」の広がり」『拓殖大学日本語紀要』(19) : 55-64.
- 山下喜代 (1995) 「形容詞性接尾辞「-ばい・-らしい・-くさい」について」『講座日本語教育』30 : 183-206.

辞書

- 『大辞林』 第 2 版 (1995)・第 3 版 (2006) 三省堂
- 『大辞泉 (デジタル大辞泉)』(1995)・増補・新装版 (1998) 小学館
- 『逆引き広辞苑 : 第五版対応』(1999) 岩波書店
- 『情報・知識 imidas <1991>』(1991) 集英社
- 『広辞苑 第 5 版』(1998)
- 『明鏡国語辞典』(2002) 大修館
- 『日本語逆引き辞典』(1990) 大修館書店
- 『日本国語大辞典 第 2 版』(2000-2002) 小学館
- 飛田良文・浅田秀子 (1991) 『現代形容詞用法辞典』東京堂出版